

都市再生整備計画 事後評価シート

栄・常盤地区
(地方都市リノベーション事業)

平成28年3月

長崎県佐世保市


様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長崎県		市町村名	佐世保市		地区名	佐世保市栄・常盤地区(地方都市リノベーション事業)		面積	10.7ha			
交付期間	平成25年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	1,431	国費率	0.445				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	高質空間形成施設:市道栄常盤町線の整備(委託) 高次都市施設:中央公民館(講座室等)の設置										
		提案事業	地域創造支援事業:福祉活動プラザの設置、中央公民館の設置										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名	道路:市道(仮称)常盤北線の環境整備 地域生活基盤施設:情報板の設置			削除/追加の理由		関連事業の栄・常盤地区市街地再開発事業において整備したため事業を削除。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
		提案事業	事業活用調査:事業効果分析調査			地方都市リノベーション事業の活用により提案事業から効果促進事業へ変更。		影響なし					
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設(地方都市リノベーション施設):市道栄常盤町線の整備(工事) 地方都市リノベーション推進施設:子ども発達センター(療育部門)の設置			地方都市リノベーション事業の活用により変更。		影響なし					
		提案事業	なし			-		-					
	交付期間の変更	当初	平成25年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
	変更	-											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	子ども発達センター・中央公民館の利用者数	人/年	53,535	H23	53,535	H27	80,752	○	あり なし	・利便性の高い中心市街地において、「中央公民館や子ども発達センター、福祉活動プラザ」を整備したことで利用者増につながっており、新たな利用形態も見られるようになった。 ・また、歩行環境を含むアクセシビリティの向上により施設利用者の満足度も高くなっている。		
指標2	商店街の歩行者数	人/日	5,092	H23	5,092	H27	6,492	○	あり なし	・定期的利用がある公益施設を商店街に面して整備したことで、施設利用者の商店街への来訪頻度が高くなったことや周辺を回遊するようになり、歩行者の増加につながった。 ・また、歩行環境が整備されたことにより高齢者や障がい者にとっても歩きやすくなり指標に寄与している。			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み				
その他の数値指標1	栄町及び常盤町の居住人口数	人	229	H23			505					・栄・常盤地区市街地再開発事業(関連事業)によるまちなか居住誘導が認められた。	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者に対して、周辺商店街における現在の満足度と以前と比べた印象について調査を行ったところ、「買物に便利なまち」、「公共施設が充実しているまち」、「街並みや景観が美しいまち」で高評価を得ており、事業効果により印象が好転していることが伺える。 事業前と比較して商店街への「お出かけ頻度が増えた」方が約3割を占め、過半数以上が「ついでに所用を済ませた」と回答しており、商店街への来訪頻度や回遊性の向上に本事業が寄与したと考えられる。 												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた				-						
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-						
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-						
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた				-						
都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-									
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-									
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた				-							
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-							
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-							


様式2-2 地区の概要

栄・常盤地区(長崎県佐世保市) 都市再生整備計画(地方都市リノベーション事業)の成果概要


まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標：高次の都市機能と都市アメニティを備え、賑わいとふれあい、笑顔があふれる 新拠点地区の形成 ① 医療・交流・福祉・定住など多様な機能が複合し、子どもから高齢者までの幅広い年齢層が交流する新たな「核」を創出する ② 「核」へのアクセス性を高めるとともに、歩きやすく安全・安心に回遊できるアメニティ性の高い都市空間を有する新拠点地区を形成する	子ども発達センター・中央公民館の利用者数 単位:人/年	53,535 H23	53,535 H27	80,752 H27
	商店街の歩行者数 単位:人/日	5,092 H23	5,092 H27	6,492 H27
	単位:	H	H	H
	単位:	H	H	H
	単位:	H	H	H



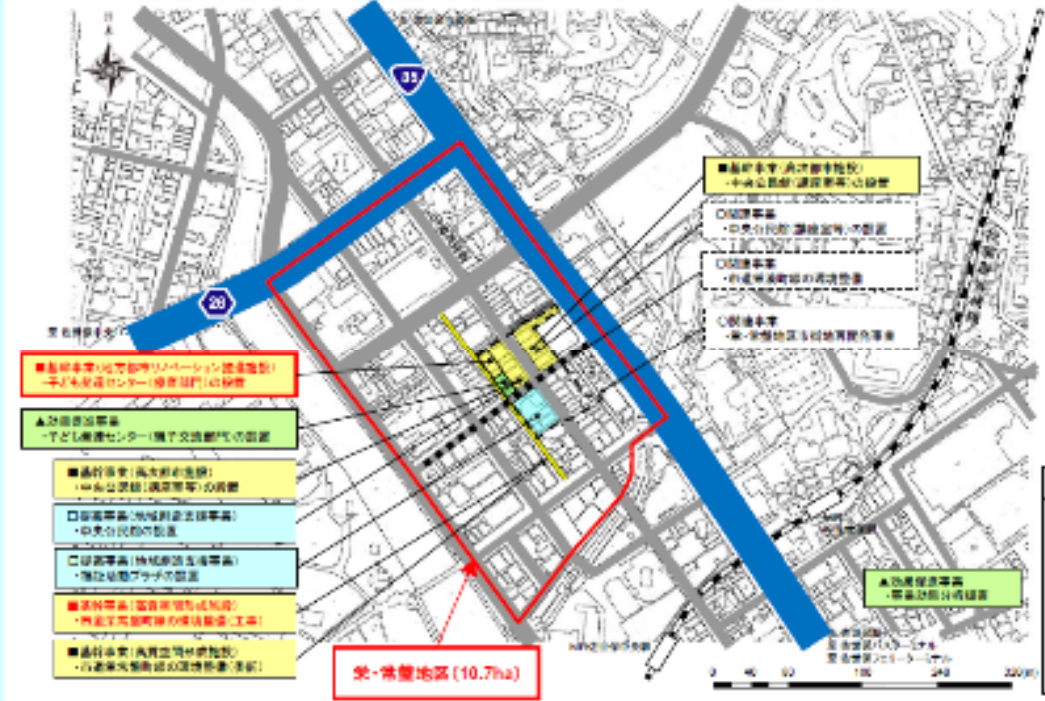
子ども発達センター




中央公民館




福祉活動プラザ



栄・常盤地区(10.7ha)



市道栄常盤町線



市道栄溪町線

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業により、新たな高次都市機能を集積した『新拠点地区』が形成された。また、周辺環境整備による質の高いまちなか空間・環境の向上も果たしている。 ・一方、新たな課題として、佐世保市中心市街地全体の魅力向上や地域の活性化へつなげるため、新拠点地区を活かしたソフト事業の展開や周辺地区などの整備が求められる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業やささほ五番街開業を商圏の拡大を含めた商機として捉え、「まち元気協議会」を軸に、地域及び商店街の活性化へ向けた取組みを推進する。 ・人口減少化において、長崎県北地域の活力の源泉としての中心市街地の活性化に向け、小中学校統廃合による旧校舎、老朽化や耐震基準不適合の公共施設の活用について、民間活力導入(PPP、PFI)を視野に、地区の特性、地域のニーズに合致した再整備を行う。 ・中心市街地には、今回関連事業の再開事業で整備した以外に、不燃化されていない建築物や耐震基準不適合の建築物が存在するため、都市機能の更新を図る。